



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日
東

上場会社名 株式会社城南進学研究社 上場取引所
 コード番号 4720 URL <http://www.johnan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 勝己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 幸広 (TEL) 044-246-1951
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,178	—	316	—	345	—	252	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 264百万円(—%) 26年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	31.41	—
26年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成26年3月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,038	4,265	70.4
26年3月期	5,659	4,065	71.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,248百万円 26年3月期 4,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,942	—	221	—	274	—	215	—	26.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期第3四半期連結累計期間より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	8,937,840株	26年3月期	8,937,840株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	884,647株	26年3月期	884,647株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	8,053,193株	26年3月期2Q	8,053,332株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同第四半期等との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府と日銀の経済・金融政策が設備投資の増加や雇用情勢の改善を誘引し、企業収益には好転の兆しが見られるものの、消費税率引き上げと円安による輸入コストの増加など景気の下振れ懸念を伴いながら依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当業界におきましても、大手予備校の大規模なリストラを始めとして、少子化の影響による市場の縮小や競争の激化の傾向がますます鮮明になるとともに、家計における限られた教育支出の用途を巡って、多様な教育サービスが競い合う混沌とした展開が加速されてきております。

このような状況のもとで当社グループは、乳幼児から社会人にいたる幅広い顧客層それぞれに訴求する最適なサービスの提供と新たなコンテンツの開発を進め、総合教育企業としての実績を積み上げて参りました。

まず、予備校部門におきましては、通常の授業形式でのサービスにとどまらず、徹底した問題演習により得点力を引き上げる「THE TANREN」と夏合宿の実施により、生徒の学力アップを推し進めるとともに予想を上回る売上高増を実現させております。

個別指導部門でも、演習コースの新設等によって集客力を高める一方、教室マネジメントの改革を推し進め、顧客満足度の向上につなげてまいりました。全国展開を推進する個別指導FC部門におきましては、開校時の業務をサポートする開校支援室の設置により、新規教室の業績が大幅に改善しております。

個別指導とともに昨今の生徒の「自分のペースで学習を進めたい」というニーズに応える映像授業は、依然として間断なく受講者数を増やしており、eラーニングとともに総合教育企業の一環として時代をとらえた事業展開を加速させております。

顧客との長期的な関係を期待できる乳幼児教育部門におきましては、新たに開校した「くぼたのうけん表参道教室」と幼児・児童英語教室「ズー・フォニックス・アカデミー南浦和教室」が高い評価をもって受け入れられ、今後の集客に期待が持てるスタートを見せております。

東京都認証保育所「城南ルミナ保育園立川」では定員に迫る入園者数を確保し、待機児童の解消に向けた貢献度を高めております。

大学生を対象とした就職サポート事業「城南就活塾」におきましても、WEB版の充実とあいまって注目度をあげております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,178百万円、営業利益が316百万円、経常利益が345百万円、四半期純利益が252百万円となりました。

なお、当社グループは教育関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間の総資産につきましては、6,038百万円となり、その内訳は現金及び預金等の流動資産が2,261百万円、土地等の有形固定資産が1,712百万円、のれん等の無形固定資産が275百万円、敷金及び保証金等の投資その他の資産が1,789百万円となっております。

(負債の部)

負債につきましては、1,772百万円となり、その内訳は、前受金等の流動負債が1,126百万円、退職給付に係る負債及び資産除去債務等の固定負債が646百万円となっております。

(純資産の部)

純資産につきましては、4,265百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本資料発表日現在において、平成26年5月15日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,469,140	1,724,063
売掛金	83,263	179,643
有価証券	50,000	50,000
商品	58,242	49,120
繰延税金資産	54,571	54,470
その他	233,330	213,618
貸倒引当金	△462	△9,093
流動資産合計	1,948,085	2,261,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	782,456	797,032
土地	834,674	835,421
その他(純額)	56,699	80,151
有形固定資産合計	1,673,830	1,712,605
無形固定資産		
のれん	160,772	151,314
その他	112,180	123,806
無形固定資産合計	272,952	275,121
投資その他の資産		
投資有価証券	281,530	313,662
敷金及び保証金	829,789	827,063
投資不動産(純額)	479,229	477,741
その他	189,164	185,917
貸倒引当金	△15,077	△15,077
投資その他の資産合計	1,764,636	1,789,307
固定資産合計	3,711,419	3,777,033
資産合計	5,659,505	6,038,856
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,338	28,784
未払法人税等	49,445	94,132
前受金	464,736	488,442
賞与引当金	25,060	47,920
校舎再編成損失引当金	5,388	1,142
資産除去債務	5,748	1,648
その他	417,632	464,171
流動負債合計	998,351	1,126,242
固定負債		
退職給付に係る負債	222,289	240,650
資産除去債務	299,185	306,043
繰延税金負債	33,906	39,156
その他	40,196	60,803
固定負債合計	595,577	646,654
負債合計	1,593,929	1,772,896
純資産の部		
株主資本		

資本金	655,734	655,734
資本剰余金	652,395	652,395
利益剰余金	3,913,665	4,102,164
自己株式	△309,420	△309,420
株主資本合計	4,912,374	5,100,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,475	50,253
土地再評価差額金	△902,493	△902,493
その他の包括利益累計額合計	△860,017	△852,239
少数株主持分	13,219	17,326
純資産合計	4,065,576	4,265,959
負債純資産合計	5,659,505	6,038,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,178,057
売上原価	2,167,544
売上総利益	1,010,513
販売費及び一般管理費	693,540
営業利益	316,972
営業外収益	
受取利息	1,786
受取配当金	6,252
受取賃貸料	19,984
その他	8,642
営業外収益合計	36,665
営業外費用	
支払利息	111
不動産賃貸原価	7,806
営業外費用合計	7,918
経常利益	345,720
特別損失	
減損損失	908
固定資産売却損	9
固定資産除却損	947
校舎再編成損失引当金繰入額	1,142
特別損失合計	3,007
税金等調整前四半期純利益	342,712
法人税、住民税及び事業税	84,574
法人税等調整額	1,107
法人税等合計	85,681
少数株主損益調整前四半期純利益	257,031
少数株主利益	4,106
四半期純利益	252,924

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	257,031
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	7,778
その他の包括利益合計	7,778
四半期包括利益	264,809
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	260,702
少数株主に係る四半期包括利益	4,106

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	342,712
減価償却費	71,965
減損損失	908
のれん償却額	9,457
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,630
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,859
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,360
校舎再編成損失引当金繰入額	1,142
受取利息及び受取配当金	△8,039
支払利息	111
為替差損益(△は益)	△2,115
前受金の増減額(△は減少)	23,705
たな卸資産の増減額(△は増加)	13,320
買掛金の増減額(△は減少)	△891
売上債権の増減額(△は増加)	△96,379
未払金の増減額(△は減少)	△62,141
固定資産売却損益(△は益)	9
固定資産除却損	947
その他	114,948
小計	459,512
利息及び配当金の受取額	7,981
利息の支払額	△111
法人税等の支払額	△46,001
営業活動によるキャッシュ・フロー	421,381
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	101,313
有価証券の取得による支出	△100,000
有価証券の売却及び償還による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△64,123
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△17,829
投資有価証券の取得による支出	△20,400
投資有価証券の売却及び償還による収入	290
敷金及び保証金の差入による支出	△5,748
敷金及び保証金の回収による収入	11,676
その他	△4,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	627
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△3,690
配当金の支払額	△64,197
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,888
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,115
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	356,236
現金及び現金同等物の期首残高	1,238,656
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,594,892

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、教育関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

部門別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
	金額
予備校部門(現役高校生)	1,174,303
予備校部門(高校卒業生)	391,696
個別指導部門(直営)	875,910
個別指導部門(FC)	147,720
映像授業部門	336,492
デジタル教材・乳幼児教育部門	234,085
その他	17,848
合計	3,178,057

(注) 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。